

各地区業況アンケート結果（30年4月調査分）

（30年4月24日）

全国鉄鋼販売業連合会

4月23日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ69名の回答があり（回答率45.7%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 売上数量、前年同月比増5割強

問1】貴社の3月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	17	19	24	6	3	69	69
比率	25%	27%	35%	9%	4%	DI+59	DI+23
売上金額/前年同月比	27	16	20	3	3	69	69
比率	39%	24%	29%	4%	4%	DI+88	DI+63

2. 黒字7割

問2】貴社の3月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	24	24	13	7	1	69	69
比率	35%	35%	19%	10%	1%	DI+91	DI+64

3. 仲間取引の減少傾向変わらず

問3】貴社の営業窓口から見て4月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	10	31	9	2	53	-2	±0
民間建設向	1	19	32	4	2	58	+22	+22
自動車向		5	27	4		36	+3	+23
その他需要家向	2	13	33	10	1	59	+8	+23
仲間取引		9	32	15	2	58	-17	-12
計	4	56	155	42	7	264	+3	+11
比率	2%	21%	59%	16%	3%			

4. 多くの需要は期待できず

問4】貴社における向う5月から7月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	2	27	33	6	1	69	68
比率	3%	39%	48%	9%	1%	DI +33	DI +41

5. タイト感なくなる

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	品種別	A	B	C	D	E		4月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-28	-17	-31	-24	-29	-20	-19	-11	10	8	-4	-17	鉄筋用丸鋼		2	22	2		26	0
-7	-8	-14	-3	-13	-13	-13	-6	3	-4	7	10	構造用丸鋼		4	24	1		29	10
-7	-7	-11	-12	-9	-5	-9	-3	3	0	0	-10	平角鋼			32	1		33	-3
7	4	-18	0	0	15	22	29	38	25	22	8	H形鋼		2	26	2	1	31	-6
0	-5	-16	-26	-13	0	21	32	54	29	48	11	コラム		9	10	2		21	33
-3	-7	-10	-16	-13	0	-8	-6	11	19	3	0	小形山形鋼		4	27	3		34	3
-6	-10	-26	-19	-16	-5	-5	-5	6	-7	0	-13	中形山形鋼			27	6		33	-18
-9	-10	-24	-22	-5	3	-3	0	11	0	-3	-3	溝形鋼		2	27	2		31	0
-11	-4	-19	-20	-13	-10	-10	3	0	4	-3	-16	軽量形鋼C形			23	4		27	-15
-9	0	-9	-20	-5	-18	-14	-15	5	-5	-9	-16	軽量形鋼広巾			16	3		19	-16
28	17	9	7	3	23	0	29	22	44	41	32	冷延薄板		2	20	1		23	4
17	0	3	-12	-9	11	14	39	46	61	50	31	熱延薄板		8	22			30	27
56	30	16	-3	-6	35	31	47	53	73	59	50	表面処理鋼板	2	9	18	1		30	40
57	52	32	9	14	45	31	64	69	76	80	52	酸洗鋼板	1	8	18	1		28	32
14	0	-13	-11	-5	10	10	46	53	76	55	24	中板		9	29	1		39	21
-3	-6	-8	-19	-19	-5	3	29	21	18	21	8	厚板		3	26	5		34	-6
-6	-6	-19	-7	-18	0	5	17	0	-7	6	-6	極厚板		1	11	1		13	0
-7	0	-6	-11	-9	-6	3	20	6	-4	3	-7	縞板		4	25	3		32	3
-6	-19	-16	-28	-14	-15	-3	0	3	7	0	-12	中径角		3	27	7		37	-11
0	-9	-15	-23	-13	-16	5	0	8	-3	3	-9	ガス管黒		2	30	5		37	-8
3	-9	-11	-21	-18	-20	-3	3	3	-3	-3	-14	構造用鋼管		3	28	5		36	-6
4	-1	-9	-14	-10	1	3	15	21	22	18	5	計	3	75	488	56	1	623	4

6. 新年度入りも需要落込み価格転嫁進まず

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	この時期はまだ不需要期だが、例年に比べるスタートが早いのか荷動きが若干良いようだ。
	B	北海道も春を迎えつつある。需要に期待するも、足元、店売りの荷動きはそんなに思ったほど良くない。大型案件が多数動き出した。空中戦による取扱い数量と売上は伸びた。
	C	丸棒の販売価格は急上昇したため仮需が発生した。仕入高の販売安。今年はこの状況から抜け出せない感がある。
東北	A	メーカーの値上げは継続している。先行き不透明なことから価格転嫁がうまくいってない。鋼材の納期が延びており、見積りの作成で苦労している。
	B	一次加工が好調。荷動きも良かった。除染の仕事も終了。地元のゼネコンが急激に悪くなってきている。
新潟	A	1～3月は盛上りに欠ける。4月も大きな期待は薄。5月下旬頃からの動きに期待。当面は値上げによる単価のギャップを埋めるべく営業する。
	B	中越以南では、小口だが建築物件が出始めた。
	C	自動車、産機、建機、半導体すべて良いと聞くが実感がない。価格の上昇、需要の横ばいがいつまで続くか心配である。
	D	形鋼類の倉出し単価の値上げが急務である。
	E	先々の見通しは明るいが、4月の販売は昨年比微減である。
	F	3月は想定以上に荷動きが良かった。その反動か4月の荷動きは良くない。5月はまた仕事が出て来そうだが、ただ、メーカーが引き受けできなくなっているのが供給面に不安がある。
	G	首都圏建築は好調で、ファブの山積みは高い。自動車、トラック、産業機械も増加傾向であり、全般的に堅調。価格面において値上げに停滞感がある。メーカーの引受けは依然厳しく、新年度以降に価格上昇を見込む。
神奈川		数ヶ月先まで仕事量は確保しているも価格転嫁は苦戦しており、収支面は厳しい状況。
東京	A	板関係は単価上昇も一服感あり。歯抜けサイズもなく、困らない程度に仕事は回っている。
	B	メーカーからの遅れていた材料がまとまって入荷した。枯渇感がなくなり、店売り市況に上伸力がなくなった。仕入価格はまだ上るため先々の採算が不安である。
	C	先月より数量は増えているが、稼働日数の関係で実感はない。各メーカーの追加値上げに伴い、再販価格の値上げを実施している。
	D	3月序盤、荷動きが悪く市況は足踏みしていたが、後半にかけ徐々に荷動きが回復(日当り前月比+4%)。歯抜け在庫もあり、上昇ムードが出始めた。この先、取引先へしっかりと説明しながら積み残し分の価格転嫁を図っていきたい。
	E	年度変わりの予算執行の停滞が市況にどのようにかわってくるか。
	F	大口需要家は仕事量を確保しているが、末端ユーザーとは温度差が出てきている。結果、店売りマーケットの荷動きは乏しく、引き合いもなくなってしまった。タイト感もなく、値上げを試みても抵抗される苦しい状況になってしまった。

静岡	A	底堅い需要と言われているが、その言葉の証が見えてこない状況が続いている。建築関連は相変わらず繁忙なファブが多い。しかも人手不足による一次、二次加工品の供給が切迫しており、対応不可となれば全く受注できない自体となってしまう。納期がこのような状況であっても価格水準はなぜか低い。県内の大手流通の販売姿勢は、声高のみで大手ファブに問い合わせ品の納入の際、価格改善ができていないことを確認できてがっかりである。地場得意先が県外の下請け先に材料加工品の発注を続けている。材料至急の依頼を懇願するも先方の意向もあり自社加工物件のみ対応が現状。売上に影響大である。逆に見れば、県外物件を受注しているが、現在打つ手なしである。興信リサーチに老舗の名前が散見される。
	B	建築案件は山谷がありながらも量は確保できている。ただ、リニアの談合問題で大手ゼネコンが受注した地元案件が一旦仕切り直しになるなど、今後の影響がありそうである。
石川	A	建築、建機、産機、工作機械は好調である。資材不足、部品不足、外注不足は普通になって慣れてきてしまった。労働時間延長はやりにくい時代になり、戸惑っている企業は多いが、もう少し時が経過すれば短納期物はできなくなり、新しいモノづくり時代に入ってくるのも早くなるのではないか。これが働き方改革なのか。
	B	ファブに対するゼネコンの指値が厳しく、多忙ながら労多くして益なしの状況である。賃金、運賃などの値上げのおり、不退転の決意で交渉に応じなければならないとの思いを強くしている。
富山		中から大型物件が鉄工所には入りきれなくなるものの中小物件が少なく、一般的に盛上りに欠ける。材料は不足ぎみだが、ユーザーで建方やラインが止まったとは聞かないので需要も減っているのではないか。
岐阜	A	価格転嫁のペースが遅くなってきている。仕事が多くないのとタイト感が少ないのが原因と思われる。前年、前々年と売上が良く、売上を維持しようと値上げより売上を追っている企業があることを無視できない。
	B	建築関連は落ち着き感がある。夏期以降の盛上りに期待している。産業機械関連は堅調に推移していて、構造用鋼や磨き材料などの価格転嫁が必須な状況にある。配送関係も即納に対するトラック手配に苦労している。
愛知	A	予想通り、4月に入って需要は落ちた。期末までに一段落ちてしまったままである。自動車も例年通り4月調整のなかにある。今年は需要が立ち上がるのに時間がかかるかもしれない。価格も動きはない。じっと我慢の時か。
	B	3月中旬から4月にかけて荷動きが更に悪くなった。入荷が相当遅れているため黒皮鋼板の不足が目立つ。4月、5月の動きが悪いのは年度初めのため仕方がないとして6月からの動きに期待したい。
	C	集購は3月、ほぼ横這い。4月以降、T社の修正があり、少し増えた。家具は先シーズン芳しくなかったのが今シーズンに期待していた。昨年末は良かったが3月大幅に減少している。陳列は減少傾向変わらず。景況感として大手のひも付きは好調で我々の分野の需給はタイト感に欠ける。配送費が上ったが、需要家への転嫁が難しい。
	D	自動車関連の需要は底堅く、年末にユーザーが仕込んだ鋼板を使いきったようで新規引合いが増えた。鉄骨物件は多く、300トンクラスの物件をやれるところが空いてないため普段聞かないような地場ゼネコンが受注するケースが出ている。価格、納期に不安を感じる。基礎の鉄筋があるはずだが、まだ話を聞かない。

三重		大型建築物件が好調だと聞くと、中小物件は非常に少なく感じる。中部圏もやっとなり値上げ圧力が強まっているものの足元、暇な影響からか値上げの転嫁が浸透しにくい。運賃の値上げ、大手同業者の安売り等、まだまだ利益率の向上には程遠い状況である。
大阪	A	需要は今一歩盛上りに欠ける。赤字に苦しむメーカーは値上げに必死だが、需要はパッとせず、新規引合い、成約は乏しくどちらかといえばメーカーの唱え価格のみが一人歩きしている。4～6月は需要の端境期でもあり、あまり多くは期待できない。
	B	メーカーは副資材、運賃コストの上昇により強基調だが、流通の荷動きは落ち着いている。スクラップ価格は弱基調である。メーカー値上げ分を販売価格に転嫁しなければならぬため現状価格を維持するのに精一杯な状態である。
北九州	A	市況に一服感があり、高値玉が入荷し採算確保に苦慮している。先々の物件はあるが足元の商売は低調である。
	B	2、3月の低迷が続いているが、今月になって見積もりも増えてきている。従来の期待通りになれば良いのだが。
	C	引合い、荷動きとも低調、局地戦で安値も散見される。値下げも確認できるが、追随しても高値補充しかできずメリットなくじっと静観している。
福岡		3月は年度末ということで大変忙しかったが、20日以降から少し動きが鈍くなり見積り引合いが少なくなった。4月から新年度になり、いまだ動きは分からないが半導体と自動車がこの1年忙しそうである。また、材料価格の値上げがどのようなか不安である。